

ID No.	3045
研究課題名	小腸自然免疫レセプターの機能解析
研究代表者	辻 典子(産業技術総合研究所・主任研究員)
研究組織 受入教員 研究分担者	三宅 健介(東京大学医科学研究所・教授) 福井 竜太郎(東京大学医科学研究所・助教)
研究報告書	
<p>本研究において、IL-18遺伝子欠損マウスの小腸粘膜固有層(Lamina propria; LP)においてCD3+T細胞が著しく減少すること、乳酸菌(<i>Lactococcus lactis</i> subsp. <i>Cremoris</i> C60)の加熱死菌体(HK-C60)の経口投与によりCD3+T細胞の比率および機能が顕著に回復することを確認した。IL-18が小腸T細胞群の増殖あるいは機能成熟に極めて重要であること、HK-C60は加齢等で減弱したCD4+ T細胞ポピュレーションをIL-18非存在下でも再構築し得ること、を示している。</p> <p>2020年度はHK-C60の経口投与が腸管においてIL-10産生性T細胞の機能成熟を促進し、好中球、マクロファージ、Th1、Th17の大腸粘膜固有層への浸潤を抑制して腸炎を予防することを確認した。樹状細胞におけるIL-10の産生はTLRsに依存した。</p>	